

=====

S T B J ニュースレター (NO. 12)

=====

平素より、ストップ結核パートナーシップ日本にご理解、
ご協力頂きまして有難うございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

S T B J では、個人会員の皆様とのコミュニケーションを
活発にしていきたいと考えております。
メールアドレスをお持ちの皆様に S T B J の活動を
ニュースレターとしてご紹介させて頂いています。

■□■□■□■□■□■□■□

2012 年 7 月～8 月

S T B J 活動報告

■□■□■□■□■□■□■□

【2012 年 8 月 2 日】

7 名の国会議員、13 名の議員秘書の方々が出席されました。
新規技術開発に向けて、前向きな議論がされました。

議員連盟への参加

1. 平成 25 年度結核対策関連予算について厚生労働省、外務省よりヒアリング
1. 日本発の 50 年ぶりの結核新薬「デラマニド」について
大塚製薬株式会社 医薬品事業部 石川廣
1. 「結核新ワクチン開発に対する世界銀行への支援署名活動」報告
認定 NP0 法人ストップ結核パートナーシップ日本 常任理事 金子洋
独立行政法人医療基盤研究所 霊長類医科学センター センター長 安富康宏
GAVI アライアンス 資金調達担当上級マネージャー 北島千佳
1. LAMP 法を用いた結核検査について
栄研化学株式会社 研究開発統括部 富田 憲弘
1. 「ザンビア国における住民主導による結核
/HIV コミュニティ DOTS 対策プロジェクト」報告
公益財団法人結核予防会 副理事長 石川信克

【2012 年 7 月 10 日】

常任理事会の開催

- ・新理事・諮問委員 4、1 名の推挙

(WHO 協会理事長：関先生、日本医師会理事：道永先生、

関西大学教授：高鳥毛先生、元患者：成瀬さん)

- ・議連の議題について
- ・IMF・世銀総会 CSO セミナー申し込みについて
- ・耐性結核新薬開発基金の運営委員会開催の決定
- ・姫井由美子参議院議員の議連加入
- ・耐性結核新薬開発基金 新規案件

【2012 年 7 月 26 日】

結核国際研修 50 周年記念式典・シンポジウム

独立行政法人国際協力機構（JICA）と公益財団法人結核予防会結核研究所
によって実施されてきた国際研修の記念式典が行われました。

研修は世界 97 カ国、2000 人以上を対象に行われてきており、
世界の結核対策の人材育成に貢献してきています。

式典当日は、秋篠宮妃殿下ご臨席のもと、約 130 名の方々が集まりました。

STBJ は後援をし、記念式典にて代表理事/事務局長の田中慶司より
挨拶をしました。

＝外部会議への参加＝

【2011 年 7 月 12 日】

第 104 回 GII/IDI に関する外務省/NGO 懇談会

14 : 00～17 : 00

外務省南 297 号室

1. IMF・世銀年次総会のサイド・イベント等

(外務省) 高村麻裕子 国際協力局 地球規模課題総括課 事務官

(NGO) 石井澄江 ジョイセフ 代表理事

2. 第 19 回国際エイズ会議

(NGO) 柏崎正雄 エイズ予防財団 事業第一課 課長代理

(NGO) 稲場雅紀 アフリカ日本協議会 国際保健部門

チーフ・プログラム・オフィサー

3. 国連持続可能な開発会議（リオ+20）

(外務省) 星野こずえ 国際協力局 地球環境課 事務官

(NGO) 織田由紀子 女性と健康ネットワーク

4. 報告

- (1) 日本国際保健医療学会フォーラム「ポスト MDGs について」

稲場雅紀 アフリカ日本協議会 国際保健部門

チーフ・プログラム・オフィサー

- (2) パシフィック・ヘルス・サミット

石井澄江 ジョイセフ 代表理事

- (3) ファミリー・プランニング・サミット

石井澄江 ジョイセフ 代表理事

5. お知らせ

- (1) 『世界から貧しさをなくすミレニアム開発目標を実現される 8 つの方法』

合同ブックレットの出版について

稲場雅紀 アフリカ日本協議会 国際保健部門 チーフ・プログラム・オフィサー

- (2) 『新エイズ予防指針と私たち』出版について

宮田一雄 エイズ&ソサエティ研究会議 事務局長

【2011 年 7 月 30 日】

連続セミナー 「IMF・世界銀行の最新動向と CSO の活動」

第 2 回「IMF・世界銀行を見る市民の視点」に参加。

早稲田奉仕園リバティホール

講演 1：IMF・世界銀行に対する市民の視点 1

～国際金融・債務問題に取り組んだ経験から～

北沢洋子氏 国際問題評論家

講演 2：IMF・世界銀行に対する市民の視点 2

～開発・環境問題に取り組んだ経験から～

松本悟氏 メコンウォッチ顧問

=その他=

【2012 年 7 月 3 日】

IMF・世銀年次総会 CSO フォーラムに応募しました。

STBJ では、保健グループとは別で、主催者として

テーマ

「国際保健問題の中での結核対策支援を通じた貢献(保健人材育成)の重要性」

を応募しました。50 周年を迎えた国際研修を通して

今後の人材育成について議論します。

【2012 年 8 月】

耐性結核新薬開発基金 について

Beijing Chest Hospital より、以下申請があり、

8/27 をもって研修を終了しました。

・概 要

Beijing Chest Hospital 医師による MDR/XDR-TB と ICH-GCP の研修の実施

・申請団体

Beijing Chest Hospital (北京胸科医院)

大塚製薬 推薦

大塚製薬主導の喀痰培養陽性の多剤耐性結核患者を対象とした臨床試験で、
ICH-GCP に沿った試験を実施。

・研 修

主催 : Beijing Chest Hospital

研修名 : Training Course on MDR/XDR-TB and ICH-GCP

場所 : QingHai、China (中国西部 青海省)

研修担当医 : 5 名

研修対象者 : 25 名 (医師)

・目 的

将来の中国における多剤耐性結核を対象とした臨床試験実施可能施設確立に向けた
「多剤耐性結核」及び「ICH-GCP」に関する知識の啓発

・費 用

US \$30,953.00 (約 250 万円)

・期 間

2012 年 8 月 25 日～8 月 27 日

-----***☆-----**-----*-----***☆☆--*☆-----**☆

※このニュースレターの配信を希望されない方は

下記メールアドレスまでお知らせくださいませ。

kaiin@stoptb.jp

(担当 宮本/下谷)

-----***☆-----**-----*-----***☆☆--*☆-----**☆